

2023年3月期第2四半期累計期間

業績レビューと見通し

2022年10月31日

株式会社 昭和システムエンジニアリング

目次

会社概要	3
2023年3月期第2四半期累計期間 業績レビュー	
1 業績概要	5
2 経営成績	6
3 業種別売上比率（全社）	7
4 業種別売上高（全社）	8
5 業績推移（過去5年における第2四半期累計期間）	
(1) 全社	9
(2) セグメント別業績推移	10
6 貸借対照表	11
2023年3月期 業績見通し	
7 対処すべき課題の進捗状況	13
8 2023年3月期業績見通し	14

□ 会社概要

社名	株式会社 昭和システムエンジニアリング (Showa System Engineering Corporation)
所在地	東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号
設立	1966年4月（昭和41年）
資本金	6億3,050万円
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・ 情報システムの開発・ システムインテグレーション・サービス・ 情報システムの開発・運用に関するコンサルティング・ BPOサービス
社員数	458名（2022年10月1日現在）
発行済株式数	4,810,000株
株主数	1,359名（2022年9月30日現在）

2023年3月期第2四半期累計期間

業績レビュー

1. 業績概要（2023年3月期第2四半期累計期間）

売上高

3,400百万円

(前年同期：3,117百万円)

営業利益

420百万円

(前年同期：337百万円)

四半期純利益

293百万円

(前年同期：234百万円)

経済動向

- ・わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により経済活動への影響が見られたものの、各種政策の効果もあり景気は緩やかに持ち直しつつある。しかしながら新型コロナウイルス感染症の影響、為替相場における円安の影響、ウクライナ情勢、資源価格やサプライチェーンの混乱等、不確実かつ不透明な状況が続くものと考えられる。

情報サービス産業の動向

- ・生産性向上や競争力強化を目的としたデジタルトランスフォーメーション（DX）関連の投資需要が活発で堅調な状況が継続。

当社の動向

- ・中期経営計画「+transform 2nd Stage」の4つの基本方針「① DXの推進、② 既存ビジネス領域の維持・拡大、③ 社内デジタル基盤の強化、④ 人材確保と働き方改革」を着実に遂行し、バイモーダルなDXカンパニー実現に向けた取組みを一層強化。

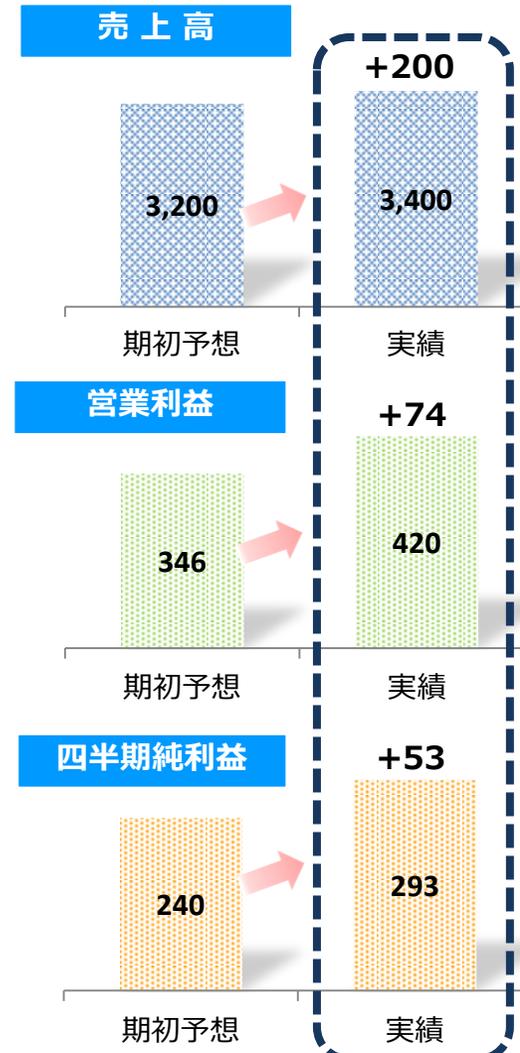
2. 経営成績（2023年3月期第2四半期累計期間）

当期期初予想値に対し、売上高、営業利益、四半期純利益とも堅調に推移

（単位：百万円）

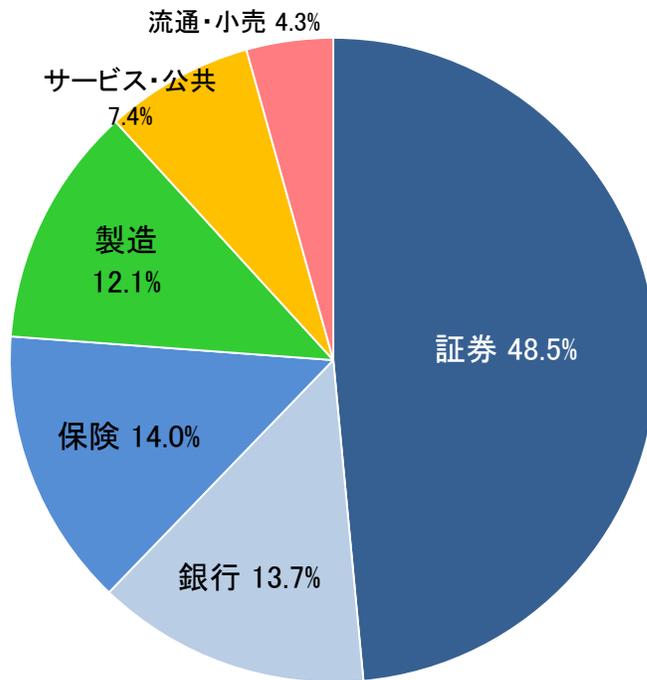
	期初予想	実績	増減	
売上高	3,200	3,400	+200	+6.3%
営業利益	346	420	+74	+21.4%
（営業利益率）	（10.8%）	（12.4%）		（+1.6pt）
四半期純利益	240	293	+53	+22.1%

（単位：百万円）

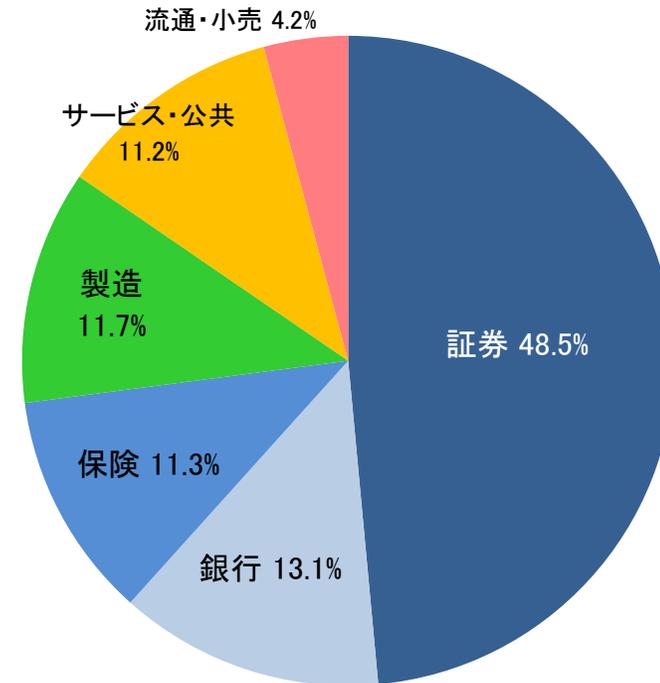


3. 業種別売上比率（全社）

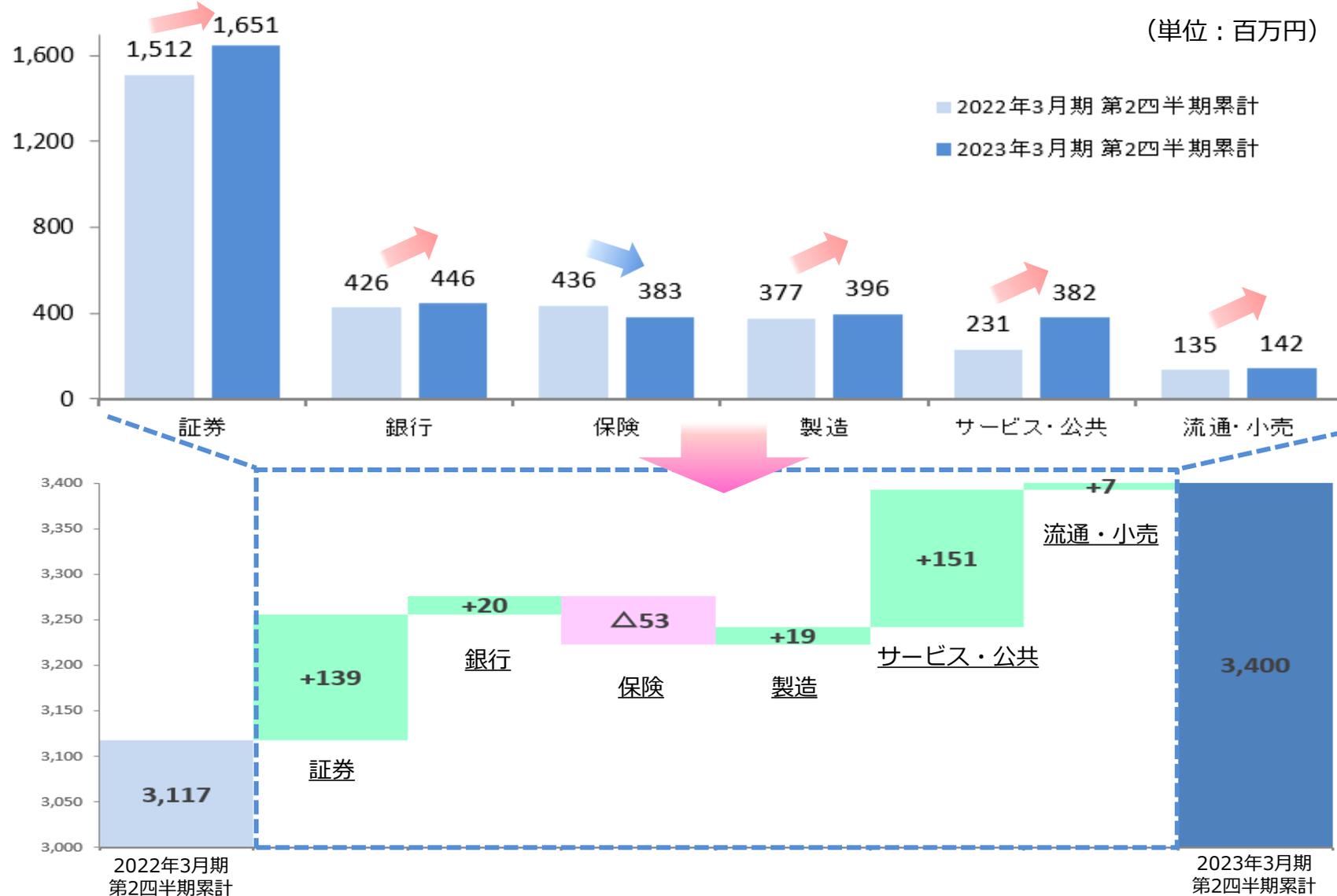
2022年3月期 第2四半期累計



2023年3月期 第2四半期累計



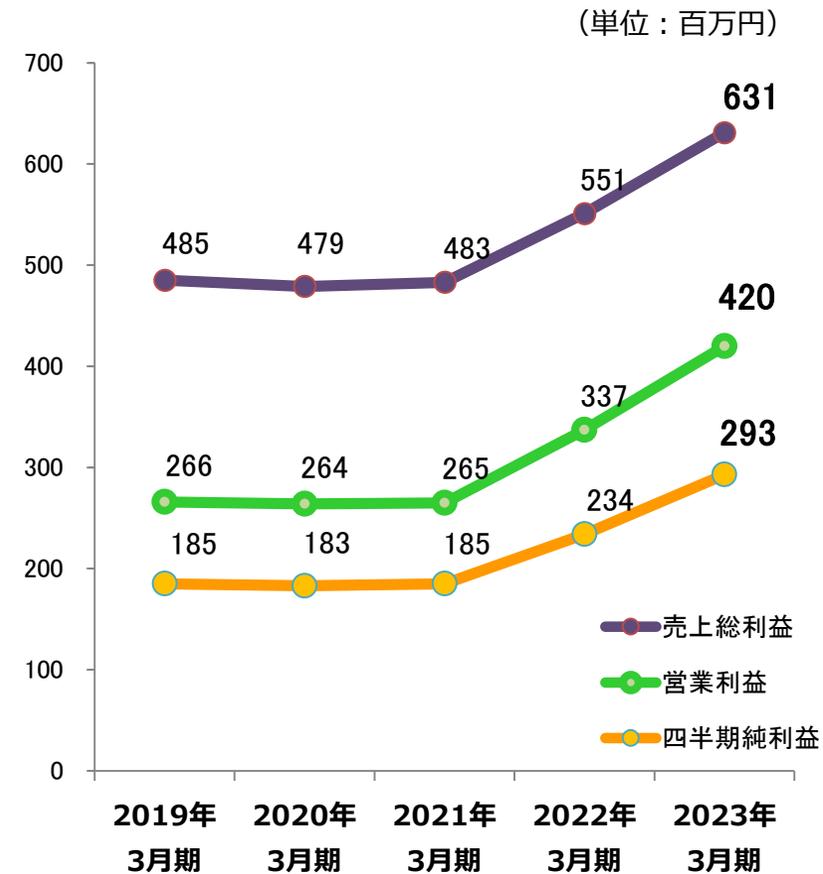
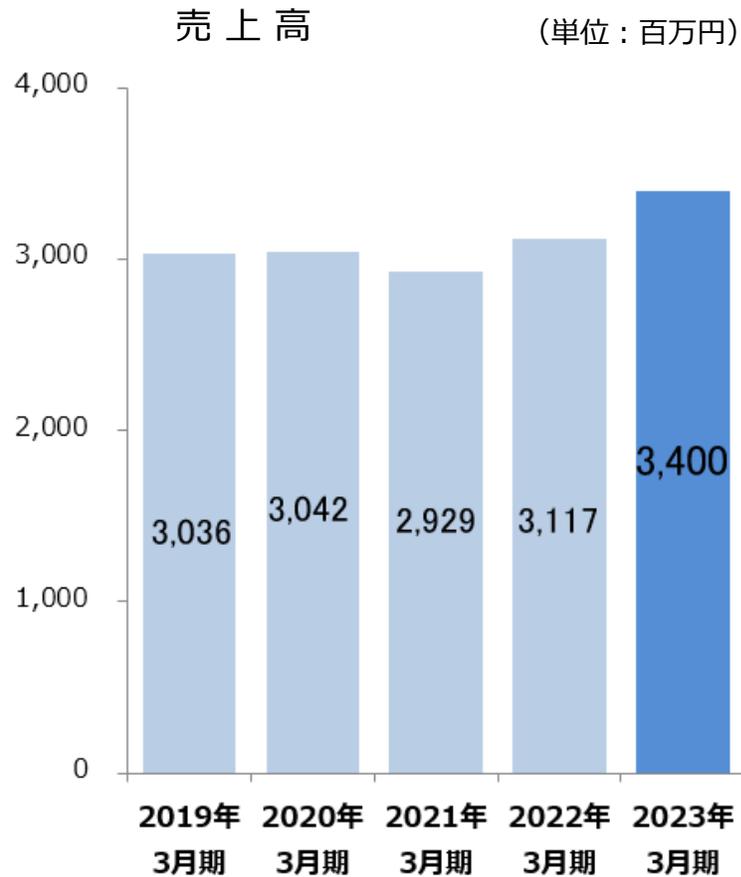
4. 業種別売上高（全社）



5. 業績推移 (過去5年における第2四半期累計期間)

過去5年を通じ堅実な業績で推移

(1) 全社

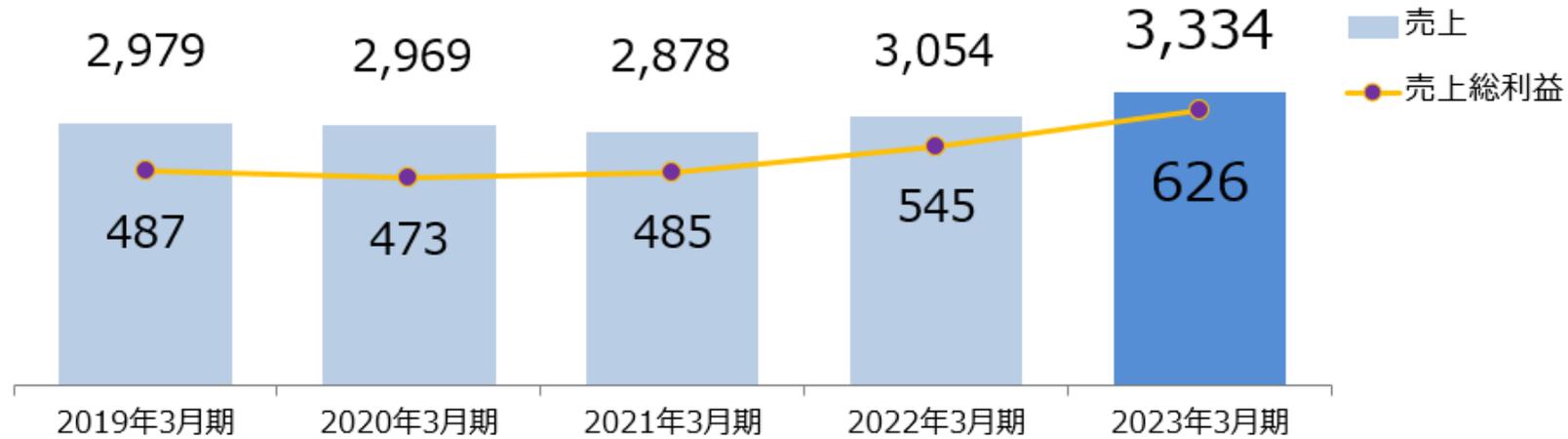


5. 業績推移 (過去5年における第2四半期累計期間)

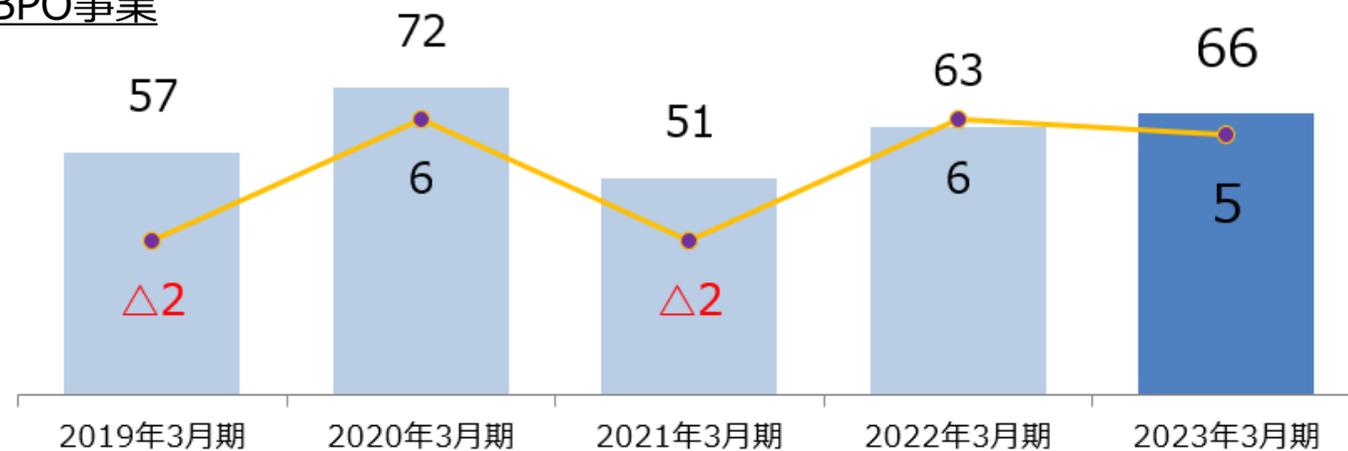
(2) セグメント別業績推移

ソフトウェア開発事業

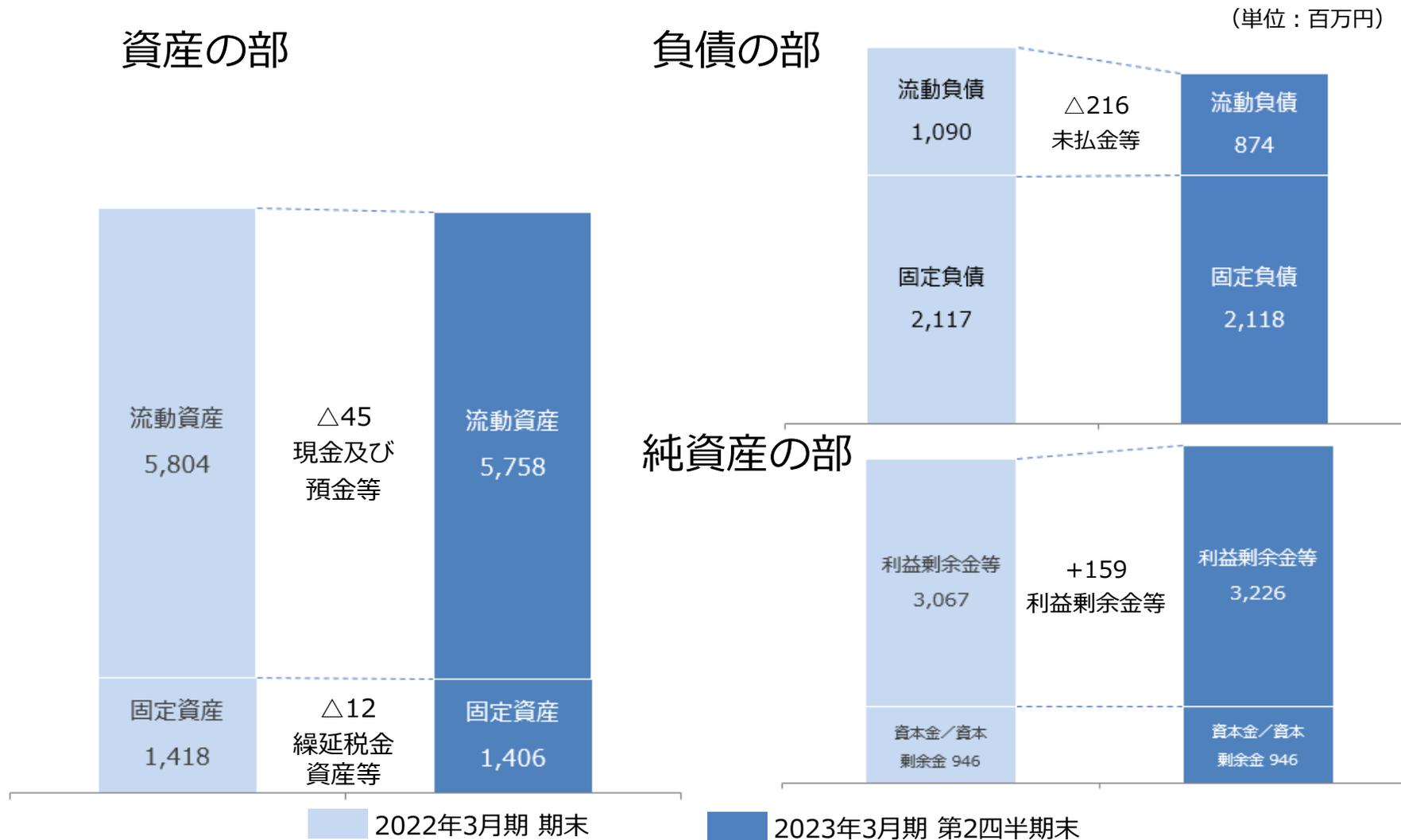
(単位：百万円)



BPO事業



6. 貸借対照表



2023年3月期

業績見通し

7. 対処すべき課題の進捗状況

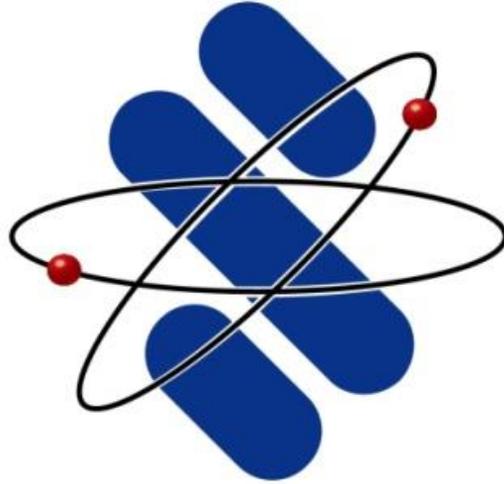
対処すべき課題	年度施策	進捗状況	下期
1. DXの推進	<ul style="list-style-type: none"> DX人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> 選抜育成 (AI、Cloud技術者) 全社DXリテラシー教育 	<ul style="list-style-type: none"> 選抜育成 AI:5名が研修受講を継続中。 Cloud:7名は上期研修を修了し 下期計画に向けて準備中。 	○ →
2. 既存ビジネス領域の維持・拡大	<ul style="list-style-type: none"> 高品質かつ安定したサービスの提供に向け、今まで培ってきたナレッジ、経験を活かした顧客への提案活動 	<ul style="list-style-type: none"> 証券分野の既存顧客は堅調に推移。 サービス/公共分野においてDX領域を拡大し、好調に推移。 	◎ →
3. 社内デジタル基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> 生産性の向上に向け、社内業務のデジタルイゼーション推進 	<ul style="list-style-type: none"> 社内基幹システム更改について、クラウドを基盤としたシステムへの刷新に向け対応を継続。 各種デジタルツールの選定とPoCを継続。 	○ →
4. 成長戦略としての人材確保と働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> 学生の満足度向上に向け、ハイブリッド型採用活動の推進 多様な働き方におけるコミュニケーション不足の解消 	<ul style="list-style-type: none"> 採用活動において、オンライン、対面のハイブリッド型の活動を継続。 部門内及び部門横断での情報共有の場を設けディスカッションを継続。 	○ →

引き続き上記施策に注力

8. 2023年3月期業績見通し

(単位：百万円)

	(前年同期) 2022年3月期実績	公表値（5月12日）から変更はありません	
		2023年3月期通期予想	
		通期予想	前年同期比
売上高	6,460	6,600	140
営業利益	612	640	28
経常利益	622	650	28
当期純利益	420	435	15



 **株式会社 昭和システムエンジニアリング**

(注意)

本資料における業績の見通しは、当社が現時点で入手可能な情報による判断及び判定に基づき算定しております。

従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の売上高及び利益は予想数値と異なる可能性があり、その確実性を保証するものではありません。